



キュウリ編

2011年12月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



病害特集

いずれの病気も多発すると防除が困難なので、
予防散布を心がけましょう！！

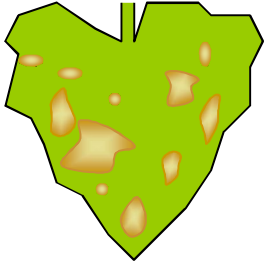


褐斑病

症状：
初め淡褐色、円形の小斑点を形成し、次第に拡大して中央灰褐色の不整形斑点になる。

発病適温：28℃前後

注意点：
高温期に施設内を多湿にすると急激に増加する。発病後の防除は困難なので、予防散布を心がける。

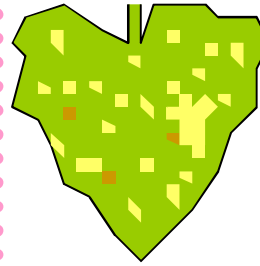


べと病

症状：葉脈に囲まれた角形で、初め水浸状、黄色の病斑を形成し、古くなると褐変する。

発病適温：20～24℃

注意点：曇雨天が続いたりして施設内が多湿気味だと急増する。肥料切れや樹勢が弱った時に多発しやすい。



ライメイフロアブル 2,000～4,000倍（前日／4回） 予

ランマンフロアブル 1,000～2,000倍（前日／4回） 予

ホライズンドライフロアブル 2,500倍（前日／3回） 治・予

フォリオゴールド 800～1,000倍（前日／3回） 治・予

アミスターオプティフロアブル 1,000倍（前日／4回） 展着剤注意 治・予

セイビアーフロアブル20 1,000倍（前日／3回） 予

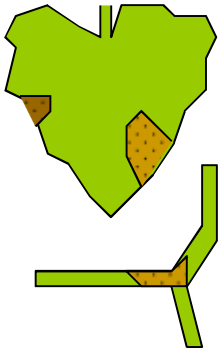
ベルコート水和剤 2,000倍（前日／5回） 予

つる枯病

症状：
茎、葉、果実に発生するが、茎の被害が最も多い。病斑上に黒色小粒点を生ずるのが特徴。

発病適温：20～24℃

注意点：
施設内が多湿気味で、成り疲れ等で樹勢が弱った時に増加しやすい。薬剤がかかりにくい茎や地際部に発病しやすいので、茎や地際部まで薬剤がかかるように、丁寧な散布を心がける。

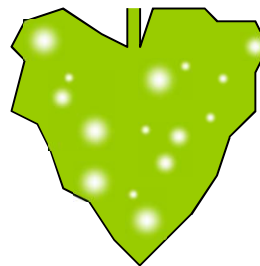


うどんこ病

症状：
葉にうどん粉をふりかけたように白い、粉状のカビを生ずる。

発病適温：25℃前後

注意点：
やや乾燥気味で、光線不足の時に発生が多い。



フルピカフロアブル 2,000～3,000倍（前日／4回） 予

パンチョTF顆粒水和剤 2,000倍（前日／2回） 治・予

ポリオキシシンAL水溶剤 5,000倍（前日／3回） 治・予

ハダニ類も追加登録！（2010年3月17日）

ストロビーフロアブル 3,000倍（前日／3回） 展着剤注意 予

トップジンMペースト 原液塗布（発病初期／5回） 治

ロブラール水和剤 1,000倍（前日／4回） 予

スマレックス水和剤 1,000倍（前日／6回） 治

おすすめ資材

暖房機の準備の時に吹出口に設置しましょう！

置らくじゃん

★ 人体、環境に安全な天然成分です。

★ 2～4個／10a。

芳香性環境保護液（成分：ニッキ・ユーカリ油）

